

令和 3年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 危機管理課
 担当名: 危機管理担当
 内線: 8132

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B1	災害対応力強化推進費		一般会計	総務費	防災費	防災総務費	危機管理強化費	
事業期間	令和 3年度～	根拠法令	災害対策基本法			宣言項目	03 大地震など危機への備えの強化	SDGsゴール
					分野施策	020516 危機管理・防災体制の強化	SDGsターゲット	
1 事業概要			5 事業説明					
危機や災害ごとに対処すべき具体的なシナリオを作成し、図上訓練を繰り返すことで、専門的な知識や能力を有する様々な官民の機関を連結させることにより、県の災害対応力を強化する。 (1) シナリオの充実 訓練会場の見直しによる減 △446千円 (2) シナリオの見える化 視察の見直しによる旅費の減 △472千円			(1) 事業内容・事業計画 ア シナリオの充実 16,063千円 令和2年度のシナリオ対象である風水害時の大規模停電、大規模断水、浸水害を、地震や感染症対策などに応用し、図上訓練を繰り返すことで、より幅広く災害や危機に備える。 (シナリオ作成 例) ・風水害(土砂災害、孤立地域) ・地震(大規模停電、大規模断水、建物倒壊) ・感染症対策 イ シナリオの見える化 6,398千円 シナリオ対象を順次拡大していくに当たり、東京大学の災害対応工程管理システム(BOSS)を活用しシナリオを電子化することで、災害対応の全体像把握や関係機関どうしのシナリオの共有や災害対応の抜け、漏れを防ぐことが可能となる。また、シナリオ検索や修正作業、図上訓練や実災害時のシナリオ参照などが効率的かつ容易に実施することができる。 (2) 事業効果 平時から危機や災害を想定したシナリオ作成や図上訓練を実施することにより、災害時に関係機関と連携して迅速かつ的確に事態に対処することができる。 (3) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 シナリオ作成や図上訓練の実施により、実動部隊(自衛隊、警察、消防)、ライフライン事業者(電気、ガス、水道、通信、鉄道等)、災害時応援協定締結事業者などと平時から協力関係を構築する。 (4) 補正予算の概要 ア 訓練会場の見直しによる会場使用料の減額 イ 視察の見直しによる旅費の減額					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×4人=38,000千円								
予算額			財源内訳				一般財源	補正後の 予算額
決定額	△918						△918	21,543
現計額	22,461						22,461	